

I. 認知症サポーターによる認知症に優しい地域づくりの進捗報告

1 趣 旨

令和5年度第2回認知症施策検討専門部会において、令和5年度重点施策「『チームオレンジ Bunkyo』サポーターによる認知症に優しいまちづくり」の取組状況を報告した。

前回の報告後から現在に至るまでの事業の実施状況について報告する。

2 事業内容及び取組状況

(1) 認知症当事者とともに活動するサポーターの育成

① 認知症サポーター養成講座（基礎）

累積養成者数 18,391 名（令和5年度末時点）

② 認知症サポーターステップアップ講座（実践）

養成講座を受講した認知症サポーターを対象に、地域でのボランティア活動を後押しするため、令和5年度から、より実践的な講座内容に拡充して実施している。

	令和5年度【参考】			令和6年度		
回 次	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
内 容	講義	実習	講義	講義	実習	講義
参加者数	20名	20名	19名	15名	—	—

③ 公式LINEによる情報配信

認知症サポーター専用公式LINEアカウントにより、ステップアップ講座修了者に対し、認知症関連事業のボランティア活動に関する情報を適宜、配信している。

④ 認知症サポーター勉強会・交流会 **新規**

令和5年度ステップアップ講座修了者を対象に、地域活動に必要な知識やスキルについて理解を深めるための勉強会と、モチベーションの維持・向上を図るための交流会を開催した。

〈日 時〉 令和6年7月10日（水）13時30分～15時30分

〈会 場〉 勉強会：ケアワークアカデミー／交流会：ケアギルド

〈参加人数〉 8名

(2) 認知症サポーターの活動

① チームオレンジ活動

認知症カフェ等において、認知症当事者、専門職とともに、チームオレンジ活動を実施している。

〈活動者数〉 令和5年度ステップアップ講座修了者 6名

〈活動支援〉 認知症カフェの運営の一端を担い、継続的に活動している方を対象に、活動支援費（500円／回）を支給する。 **新規**

② 認知症サポーターによる本人等への支援

ステップアップ講座受講者に対し、社会福祉協議会が実施する助け合い事業（いきいきサポート）を案内し、有償ボランティアとしての活動を紹介している。

【参考】令和5年度登録及び活動実績 2名

(3) 認知症本人交流会の開催

区内の高齢者あんしん相談センターと連携し、認知症本人の想いやニーズを伺う本人交流会（本人ミーティング）を実施している。

【参考】令和5年度はぶんにこ（認知症カフェ）を活用してヒアリングを行い、その内容を次の活動に反映させる等の取組を行った。

(4) 認知症カフェハンドブック **新規**

認知症カフェの活動の様子や参加者の声等をまとめたハンドブックを作成した。

配布先（案）：認知症当事者や認知症サポーター、関係機関等

Ⅱ. 認知症の人の社会参加推進に係る取組みにについて

1 趣 旨

認知症基本法で定める「共生社会」の実現に向けて、認知症の本人の想いを中心に、誰もが地域の一員として自分の役割を持って暮らし続けられるまちづくりが求められている。

区では、令和6年度より、認知症の本人が自身の意欲や能力を活かし、主体的に社会に参加できる機会の確保について新たに検討を進めており、現在の状況や今後の方向性について報告する。

2 取組状況

(1) 文京区「認知症の人の社会参加推進検討会」の開催 **新規**

① 委員構成

令和5年度「チームオレンジ検討会」委員構成と同様

ア 高齢者あんしん相談センターの認知症支援コーディネーター（4名）

イ 文京区社会福祉協議会（2名）

ウ 区民代表（4名）

エ エーザイ株式会社（2名）

オ 区高齢福祉課認知症施策担当（4名）

② 開催状況

1回

日 時：令和6年5月24日（金）14時30分～16時30分

要 旨：下記2点を基に検討を進めることとする。

①認知症の人が地域の居場所やコミュニティにつながるための方策

②認知症の人が地域で活躍できる機会の創出

(2) 東京都『認知症の人の社会参加推進事業検討会』への参加

日 時：〈第1回〉令和6年5月22日（水）14時～16時

〈第2回〉令和6年7月19日（金）16時～18時

参加者：東京都健康長寿医療センター/とうきょう認知症希望大使/都内企業/
区市町村高齢福祉関連部署 等

※ 区高齢福祉課認知症施策担当が委員として参加し、情報収集や意見交換を行っている。